

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集 新任職員ガイド

- 4.5 **2** トピックス 退任のことば
- 3** 視点 地域が元気
- 3** ひろば 還暦球児の熱き心
- 6** 実践記録シリーズ 地域の人たちに育まれる公民館（上越市八千浦交流館はまぐみ）
- 7** サークル交流 楽しみながら伝統工芸の技に挑戦（小千谷市）／歴史好きの集まり（湯沢町）
- 7** 素顔拝見 神田 絢子さん（新発田）／今井 正美さん（長岡市）



「笹ヶ峰高原 夢見平湿原」妙高市

表紙解説

群生するミズバショウは、妙高市の春を迎えた喜びを体現する存在です。湿原の周りには、森林セラピーロード「笹ヶ峰夢見平遊歩道」が整備され、訪れたひとの心と体を癒してくれます。

今年の人事異動に伴う当会役員 退任のことば

『県公連の一層のご発展を祈念』

今年も人事異動により6名の役員の方々がご退任されることとなりました。ご退任に当たって左記の項目によりおことばをいただきました。

- ① 異動内容・異動先等
- ② 在任中、印象に残った事業、事柄等
- ③ 退任に当たって贈ることば（市町村合併後への提言等）

① 定期異動

② 第60回県公民館大会を燕市文化会館で開催できたこと。

優良公民館として文部科学大臣表彰を受賞できたこと。

④ 公民館の各講座の開講式で受講生の皆さんにお願いすることが常にありました。それは「休まずに参加してください。」「仲間づくりに努めてください。」

この言葉は私のこれからの仕事、人生にも生かして行きたいと思えます。

最後に、公民館活動を推進するために、皆さんの英知と識見を存分に発揮され今後ますます公民館活動が発展されますようご祈念申し上げます。



前評議員
(前燕市中央公民館長)
堀越 基

① 定年退職

② 中越地区の社会教育委員さんの研修会の開催市となったり、私自身も各種公民館大会に出席させていただきました。その際の参加者のいきいきとした表情がとても印象に残っています。

④ 一年間という短い期間でありましたが、多くのことを学ばせていただきました。公民館は、どのような立場の人でも平等にその活動に参加できるという唯一の大変貴重な組織であると思えます。

県公連の、ますますのご発展を心からお祈り申し上げます。



前評議員
(前柏崎市公民館長)
星野 正行

① 定期異動

妙高市教育委員会
こども教育課長

② 初めての分野でもあり、また、一年間という短い生涯学習課長(公民館長兼務)でしたが、この中で、公民館の歴史や「公民館活動が入づくり活動である」ことを身をもって学ばせていただき、地域活動の原点であることを再認識することができた一年間となりました。

③ 公民館活動のあり方が問われている昨今ですが、地域コミュニティやNPO法人など新たな地域づくり団体との連携のあり方が重要な課題となってきています。

地域づくりの主体は、住民の皆さんです。これからの公民館活動は、住民や地域団体、NPOなどの活力を引き出し、自主活動へと進展させていく取組が今後ますます重要になってくるものと考えております。

このためには、適切な役割・責任分担のもとで、住民と行政とが協働して地域づくりを進めることが今後の公民館活動のありべき姿ではないかと感じています。



前評議員
(前妙高市公民館長)
戸田 正弘

① 退任

新潟県ユースホステル協会会長へ

② 県公連創立50周年記念事業の実施、第43回関ブロ公民館研究大会の開催。「新潟県公民館月報抄」(600号記念)の刊行とA4判化への移行、平成の市町村合併問題並びに自己財源立確立への対応等、枚挙にいとまがないくらいです。これもひとえに、全面的なご支援・ご協力いただきました公民館現場の方々のおかげと、心より感謝申し上げます。

③ 全国的にもレベルの高い貴重な情報紙「新潟県公民館月報」の自主購読の推進方、よろしく願います。



前参与
(前事務局長代理)
鈴木 友夫

① 定期異動

聖籠町学校教育課長

② 6年間公民館業務を担当させていただきました。現在の町の合併30周年記念事業の一環としての種々の事業の実施やトキメキ新潟国体の受け入れのための施設整備など、忙しくも楽しい期間でした。

④ まちづくりについて住民と語ることが出来、充実した日々でした。元々事務屋の私にとってあまりにも世界が違う職場で、大きな刺激を受けました。仕事が人を成長させるといいますが、触れ合った人々のお陰で、私は成長させていただきました。



前下公連代議員
(前聖籠町公民館長)
神田 礼輔

① 勲奨退職

② 一年間と短い公民館担当でした。公民館に関連した各種大会、会議等に出席させて頂き、公民館活動の奥深さ、幅広さを改めて認識しました。

③ 町村合併等で公民館の活動範囲は広がりますが、地域固有の文化を大切に育んで行くことも重要なことと考えます。公民館は多くの方々に出合いと感動を共有して頂く素晴らしい場だと思います。これからはますます公民館活動が重要になってきます。

各公民館、そして県公連のご発展を心からお祈り申し上げます。



前評議員
(前阿賀町公民館長)
伊藤 東一

視点

地域が元気

巻地区公民館 増井 建



昨年三月、小学校教員を定年退職し自由気ままな生活に入れると喜んだ。

ところが、突然、出身地である潟東地区公民館長を拝命した。全く初めての仕事に途惑った。しかし、友人知己が多く心強かった。既に地区の中心メンバーとして活躍していた。閉村、新潟市との合併という時代の流れの中で、地区の特性をどう生かし発展させていくか議論百出を繰り返したと語ってくれた。公民館も協力を惜しまなかった。

六月、一大イベントである「おまつり広場」の準備会合

が開かれた。公民館は「どろんこカップ」の主担当になった。事務的な仕事、会場の下準備等でてんやわんやの状態になった。そんな中、体育指導員を始めとする地区のメンバーが率先して田んぼに入り八面分のコート作りを終えてくれた。六十八チーム、三百余名が参加した「どろんこカップ」は成功裏に終了できた。

小さな地区ではあるがイベントを核にして大いなる元気を発信している。公民館もその一翼を担っている。

H O T N E W S

掲 示 板

<中越地区公民館連絡協議会 第1回代議員会開催>

- ◇日時 平成22年5月14日(金) 13時30分～16時45分
*終了後情報交換会あり
- ◇会場 アトリウム長岡
- ◇議題 (1)平成21年度事業及び会計決算報告 (2)平成22年度事業計画及び予算 (3)その他
 - ①第58回中越地区公民館研究大会実施大綱について
 - ②平成22年度中越地区公民館職員研修会について
 - ③平成22年度中越地区公民館長・主事・公連審研修会について
- <講話> 講師 広田 公男 (十日町市中央公民館長)

<下越地区公民館連絡協議会第1回代議員会開催>

- ◇日時 平成22年5月11日(火) 13時15分～15時30分
- ◇会場 下越教育事務所 303会議室
- ◇議題 (1)平成21年度事業及び会計決算報告 (2)平成22年度役員選出 (3)平成22年度事業計画及び予算 (4)今後の下公連・下社連合同研修会及び県公民館大会開催地等について (5)その他
 - ①県公連情報
 - ②各市町村情報交換

ひろば

還暦野球の熱き心

弥彦村社会教育委員 武石 雅之

還暦野球といってもご存じの方は少ないと思います。私も先輩からお誘いを受けた時には、60を過ぎた野球好きが集まってワイワイはしゃぎながら、適当にやっているだろう、程度に考え気楽に受けたのですが、いざ練習に参加したらその真剣さ、身のこなしの軽さにびっくりしてしまいました。ユニホームを着用してグラウンドにいれば全く年齢は感じませんが、近寄ってみれば顔のしわや、髪の状態でなるほど納得します。

全日本還暦軟式野球連盟の傘下に、各都道府県連盟があり、県内に23チーム、全国では428チームの立派な組織となっております。私は地元弥彦ジュニアーズというチームに所属しております。

一昨年の全日本大会で、

新潟エージェンチスチームが全国優勝し、ますます各チームの意気込みが高まっております。

今年の9月17日から5日間県営工コスタジアムを中心に、新潟市内の8会場で開催されます。一度ぜひ球場に足を運んでいただき、還暦球児の熱い戦いにご声援を頂ければ幸いです。



員ガイド

公民館の原点

公民館は何のためにつくられたのでしょうか。原点として知っていただきたいことなので紹介します。

公民館を考えたのは日本人です。敗戦によって荒れ果てた国土・郷土を立て直す原動力として構想されたもので、戦後1年も満たない1946年(昭和21)7月5日、文部次官通牒によって全国に公民館の概念が与えられ広がっていきました。この構想を考えたのが、当時文部省で働いていた公民教育課長の寺中作雄さんという方で、「寺中構想」として表現されています。

その寺中さんが著した『公民館建設』の冒頭「何故公民館を作る必要があるのか」に当時の状況がうかがわれます。ごく一部です。

「…あくせくと一身の利にはしり、狂うがごとく一碗の食を求めてうごく人々の群。武力を奪われ、国富を削られた日本の前途は暗く、家を焼かれ、食に飢える人々の気力はなえ疲れている。これでよいのであろうか。日本は果たしてどうなるのだろうか。…戦いに敗れた結果、仕方なく民主主義になるのだと思っはならない。…われわれは真に反省し、心のそこから懺悔して、今こそわれわれの正しい方向に立ちかえり、平和と文化と民生の道に進もうではないか。方向は決まった、目標はついた。…」2008.4月刊「公民館」から抜粋

3つの理由

そして、公民館をつくった3つの理由が述べられています。

要約すると、①平和と民主主義の理念をきちんと身につけるための施設。②豊かな教養を身につけ、文化の香り高い人格(他人の意見を尊重し、他人と協調することができること)を磨きあうための施設。③地域に産業を興し、地域の政治を立て直し、地域の生活を豊かにするための施設。

このように公民館は単に個人が豊かになるための貸し館として設置されたものではありません。個人が豊かになると同時に、豊かになった人や団体が力を合わせ、豊かな地域社会を築いていく地域づくりの拠点として公民館はつくられました。

戦後65年を経た今日、この考えは古いでしょうか? 自信を失い廃虚と化したどん底の世界から見いだした構想は、今もなお脈々と受け継が

れるものであり、公民館に欠かせない重要な精神だと私は思います。

人格を磨くための生涯学習

生涯学習は学校教育と社会教育だけではなく、私的で個人的な学習も含む広い学習活動を包括的にとらえ、生涯学習社会をめざそうという考え方です。社会教育は、主として学校教育以外の青少年や大人に対して行なわれる組織的な教育で、生涯学習をサポートし、人々の学習活動を教育的に高める働きをします。

2006年(平成18)に改定された「教育基本法」第3条に、生涯学習の理念が新設され、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に活かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と示されました。

私は、この中の“自己の人格を磨き”を重く受け止めています。なぜならば、今までの定義に入っていなかった文言だからです。人格を磨くためのものであることが改めて示されたことは、人としてやっていいこと悪いこと、善悪の区別がつかなくなっている現象への警告と思えます。

学び合うこと

複雑化している社会といわれますが、私たちが本当に求めているのは、人と人とのつながりという、実はシンプルなことのような気がします。それぞれの地域には、輝きを秘めた原石というべき人たちがたくさんいます。他人とのコミュニケーションの中で自分が広がり、さまざまな人たちとの出会いをとおして殻は破られます。人と人とのつながりをつくりながら広め、共に学び合っていくことが肝要です。

おわりに

公民館職員としての専門性は、常に自分を高める努力の中から育ってくるのだと思います。『学ぶ』とは『変わる』こと、「公民館時代が人生の分かれ目だった!」と言えるような決定的な瞬間をつかみ取ろうではありませんか。



特集

新任職



阿賀野市中央公民館長
見原 健司

公民館へようこそ

いかがお過ごしでしょうか。公民館への異動が決まった時、夜や土・日もなく、人前で話すことも多く大変だろうなあ...。と思います

でしたか。外から見るとそのように思われるかもしれませんが。でも仕事をしてくうちに、やりがいを感じてくるようになると思います。それは私たちの仕事は人々の幸せにつながっているからです。人生を豊かにする学習活動の営みを援助しながら、自分自身の人生も豊かになっていきます。ありがたいことです。

公民館職員は、「教育学」の専門家である学校の先生とは違い、講座や事業展開への専門知識や技術も学ばないまま、事務引継ぎだけでスタートすることになります。社会教育は生き物ですので、今回うまくいっても次回はいまいくとばかりではありません。つまり今までのことが通用しないことも多々ありますが、適度な失敗経験も学びです。実践を積み重ねながら積極的な研修の参加を心がけ、公民館の特性を学んでいくことで専門性が身に付いていきます。

全ての事業に「何のために」か

「公民館活動」という言葉があるように、公民館は単なる集會施設ではなく活動を行なう事業施設です。また、学校教育は先生と生徒という関係ですが、公民館はお互いが学びつづける関係を築いていくことが求められる相互教育が基本です。人々の学習活動の営みを援助し、動機づけや気運づくりに一歩みこみ込んだ相談や情報提供、そして事業を展開します。

当たり前のことですが、それぞれの事業には「何のために」という目的があります。例えば講座などを開設するとき、教養を深め自己の生き方に役立ててほしいという願いから始まり、さらに仲間づくりが達成でき、そこで得た知識や技能などを住民や社会に還元できる。そして奉仕することの喜びや生きがいを持つるように進展

してほしい...。つまり社会参加の実践活動をおして一人一人の意識と能力を高め、住民中心の活動へと行動力を育てるところまで思いと願いを馳せます。

住民の自治能力の向上

公民館は「つどい(集會と活用)」「まなぶ(学習と創造)」「むすぶ(総合と調整)」といった機能があり、学びに集まった人たちがつないでいくこと、結んでいくことに大きな特徴があります。そして、究極のねらいは自分たちの地域は自分たちで良くしていくという「住民の自治能力の向上」にあるといわれています。

以前の行政は、ハード面の施設を建設することと自体を目的にして、ソフト面については、なおざりになっていくという宿命的な体質を持つていました。このことが住民の行政依存の風潮を助長してきた嫌いがあります。



「市民がつくる学習プログラム」
自分たちでできることは...3月20日、市民が企画した「まちづくりフォーラム」に、行政メンバーを含む35人の市民が水原公民館に集會。「市民団体」「一般市民」「民間企業」「行政」といった役割を演じ、ネットワークを強化する中間組織の必要性を学び合いました。
まちづくりの活動には、市民一人一人の問題意識が原点にあります。

実践記録

146

シリーズ

地域の人たちに育まれる公民館（上越市八千浦交流館はまぐみ）

上越市立公民館 主任 小池 和美

1 はじめに

上越市八千浦地区は上越市の海岸部に位置し、公民館八千浦分館は、建設中の上越火力発電所用地に程近い「八千浦交流館はまぐみ」の中にあります。ここは3年前に開館し、スポーツが楽しめる多目的ホール、会議や学習で利用できる集会室や、調理室、憩いの場となる浴場などが備わっており、年間利用者は延べ4万人を超える、比較的大きな施設で、地域の新たな生涯学習施設として、八千浦地区以外の市民からも多く利用していただいています。

2 地域づくりの核として

はまぐみには、公民館協力員1名が勤務し、教室運営や学習相談などを行っています。また、地区住民で組織する「まちづくり協議会」の事務局が置かれているため、地域のさまざまな活動の核となっています。

公民館運営には、公民館長が委嘱した推進員5名（地元の学校長やまちづくり協議会から選出された方）が、年1回の会議のほか、年間を通じて助言や協力をしています。

地域、学校と連携することで住民の皆さんには「私たちの公民館」という意識が育ち、さまざまな活動の発展につながります。例としては、小学校と地域が連携し、施設名になっているはまぐみの苗を育て植樹する活動があります。開館1年目から続く活動です。はまぐみが数年後に実をつけるのを楽しみに、地域の方々が大切に育てています。児童にとっては、ふるさとを愛する心を育む良い活動であり、公民館としても有難いことです。

3 3周年記念イベントの実施

また、公民館として、子どもから高齢者まで多様な世代が集まり、個人や団体が利用される中で、世代や分野を超えた人と人とのつながりづくりができないかと、開館以来、さまざまな学習活動を推進してきました。

今年2月、ある教室の閉講式のとき、公民館側から一つの提案をしました。

それは、4月に開館3周年を迎えるにあたり、何

かイベントができないかというものでした。すると、受講生の中で、「絵本の読み聞かせが出来るよ」「絵手紙の体験が出来るよ」という声が上がリ、ささやかな3周年記念イベントを実施することになりました。またこの他、煎茶道の団体から協力いただき、体験教室を開くことになりました。



絵本のおはなし会

絵本のおはなし会は折り紙遊びとセットで、地区青少年育成会議と共催で実施することになりました。



絵手紙体験教室

またホールには施設利用団体の手作りポスターを展示しました。

当日は、家族連れなど、地域の方々が大勢集まりました。おはなし会を担当された方は、「最初は緊張したけど楽しかった」と満足された様子。絵手紙サークルの皆さんも「これをきっかけに会員が増えそうだ」「やってよかった。またやりたい」と笑顔。受講生から教える側になり、参加者に楽しんでもらったという達成感が感じられました。

4 おわりに

このイベントを通じて、「はまぐみ」が地域に愛され、育まれる公民館として、また少し力をつけたようです。

今後も単なる入浴施設や集会施設ではない「公民館」として、「はまぐみ」を核とした地域づくりが進められることを期待し、応援していきたいと思えます。

全国公民館連合会では、さまざまな資料を発行して全国の公民館を応援しています。最近では、「公民館における災害対策ハンドブック」「よくわかる公民館のしごと」が刊行されていますが、このたび、「公民館のしごと」の改訂版・続編版ともいえるべき本書が刊行されました。

公民館における日常業務で必要な法令、通達や照会・回答、答申



などを分かりやすく記述されています。また、公民館の基礎となるあらゆる情報が網羅されています。業務中に、急に必要になったときのために手帳なB5サイズにまとめられていて、デスクに一冊置いたら便利だと思えます。

◆お問い合わせ連絡先
・社団法人全国公民館連合会
〒一〇五-〇〇〇-一
東京都港区一-一六-八
TEL 〇三-三五〇-一九六六六
・定価二、一〇〇円(税込み)

恵贈資料紹介

平成二十二年版「公民館関係者必携」

全国公民館連合会編

第61回 新潟県公民館大会開催要項 兼新潟県公民館連合会創立60周年記念式典

- 大会主題 「60周年を迎えた今、公民館は、職員は、どうあるべきか」
— 公民館は、激変する社会情勢に対応できるか?！ —
- 趣 旨 (省略)
- 主 催 新潟県公民館連合会
- 共 催 新潟県教育委員会 新潟市教育委員会
- 主 管 新潟市中央公民館
- 後 援 (省略)
- 日 時 平成22年7月16日(金) 午前9時30分 開会
- 会 場 新潟市北区文化会館 (新設・6月竣工予定)
〒950-3323 新潟市北区東栄町1丁目1番5号
TEL 025-388-6900
- 参加者 市町村長 同議会議長 同議会議員 同教育委員 同社会教育委員 同公民館運営審議会委員 同公民館長 主事 職員 社会教育主事 社会教育指導員 学校教職員 社会教育関係団体役員 一般市民

10 日程

9:00	9:30	10:50	12:20	13:10	13:30	15:00	15:20
受付	開会式 記念式典	記念講演	昼 食	アトラクション	パネルディス カッション	閉会式	

- 記念講演
演題 「激変する社会情勢と公民館活動」
講師 吉田 博彦 氏 (NPO 法人 教育支援協会代表理事)
- パネルディスカッション
テーマ 「公民館は、激変する社会情勢に対応できるか?！」
コーディネーター 真柄 正幸 氏 (新潟市立万代長嶺小学校校長)
パネリスト 石井山竜平 氏 (東北大学 准教授)
吉田 博彦 氏 (NPO 法人 教育支援協会代表理事)
郷 扶二子 氏 (新潟市坂井輪地区公民館運営審議会委員)
- アトラクション 豊栄民謡連盟 (新潟市北区)
- 参加費 県公民館大会資料等 2,200円
内訳 ① 県公民館大会資料代 1,500円
② 昼食代 (弁当、お茶) 700円
- 申込み
① 参加者は所定の形式により、市町村ごとに取りまとめの上、6月30日(木)までに大会事務局アドレスへ、メールで申し込んでください。
参加費は、申込み前日までに下記の口座に振り込んでください。
・銀行名 第四銀行 本店営業部 口座番号 2567148
・名義 新潟県公民館大会 実行委員長 和田明彦
② 参加費申込み受付後、「大会参加証」「受領書」を一括送付します。
③ 申込み責任者は大会当日に「大会参加証」を提示し、大会資料を受け取っていただきます。
④ 参加申込みの取り消しは7月7日(休)とし、それ以降は準備の都合上返金いたしませんのでご了承ください。
- 大会事務局 〒951-8055 新潟市中央区礎町3-2086 新潟市中央公民館内
第61回新潟県公民館大会実行委員会事務局
TEL 025-224-2088 FAX 025-223-4572
E-mail crosspal@city.niigata.lg.jp

土砂災害防止月間

～みんなで防ごう土砂災害～

毎年6月は「土砂災害防止月間」です。

土砂災害から人命・財産を守るため、土砂災害に関する防災知識の普及、警戒避難体制の整備を推進します。

新潟県治水砂防協会

会長 (出雲崎町長) 小林 則 幸

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内

TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

あ と が き

「明日出来ることは今日するな」とはトルコの格言。

今回、初めて月報の編集をしてみてこの格言は間違っていることに気がま

した。編集の仕事というのは、「今日できることは明日に延ばすな」です。来月号はもう少し余裕をもって作成したいと思えます。(新米編集人 田原 記)